

令和4年度

各教科 年間
指導・評価計画

【第1学年】

国分寺市立第一中学校

	単元	学習内容	評価の観点
一学期	野原はうたう	詩の鑑賞	・作品を工夫して群読している。 ・表現の工夫に注目して詩を読み味わう。【知識・技能】
	シンジュン	小説の読み取り	・登場人物の言葉や行動の描写に注意して、内容を読み取る ・作品中の人物について、自分が考えたことを挙げている。【思考・判断・表現】
	わかりやすく説明しよう	作文【書く】	・事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、観点を立てて、工夫して書く。 【思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度】
	漢字の組み立てと部首	漢字の学習	・漢字の組み立てと部首について理解できる。【知識・技能】
	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって	説明文の読み取り	・文章表現や構成上の工夫、効果に気づき、その効果について考えている。【思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度】
	情報を的確に聞き取る 好きなものを紹介しよう	紹介スピーチ 聞き取りテスト	・伝えたいことを相手にわかりやすく工夫してスピーチしている。 ・CDによる聞き取りテストを行う。【思考・判断・表現】
	話し言葉と書き言葉 言葉のまとめ	言葉についての学習	・言葉の決まりや特徴を理解している。 ・言葉の力について考えている。【知識・技能】
二学期	漢字の筆使い、字形	書写技能向上の学習	・漢字の書き方、それに調和した仮名の書き方を理解して読みやすく書いている。 【知識・技能】
	読書	ビブリオバトル	・読書に親しむ態度を養う。
	星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに	小説の読み取り	・作品中に描かれた人物の気持ちをとらえて、自分の考えを持つ。 ・文章中の見方や考え方について、知識や体験と関連づけて自分のものの見方を見つめなおす。【思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度】
	わかりやすい案内文を書く、 調べたことを報告する	報告文 【書く】	・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方段落相互の関係などに注意して読みやすくわかりやすい文章を書いている。【思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度】
	「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	説明文の読み取り	・文章をまとまりに分け要旨を捉える。 ・根拠を明確にして文章を書いている。【思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度】
	漢字の音訓	漢字の学習	・漢字の音訓について理解できる。【知識・技能】
	指示する語句と接続する語句	言葉についての学習	・指示語と接続語について理解する。【知識・技能】
	いろは歌 月に思う、蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	古典の学習	・古文特有の表現の特徴をとらえている。 ・歴史的仮名づかいや古文特有の語句、漢文調の言い回しなど、作品の表現の特徴をとらえている ・古文のリズムを味わいながら暗唱している。【知識・技能】
	文字の大きさと配列 楷書と仮名のまとめ	書写技能向上の学習	・漢字の楷書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【知識・技能】
	流れを踏まえて話し合う	話し合い活動	・相手の立場を尊重して目的に沿って話し合い互いの発言を検討している。 ・CDによる聞き取りテストを行う。【思考・判断・表現】
	「不便」の価値を見つめ直す	説明文の読み取り	・文章をまとまりに分け要旨を捉える。 ・根拠を明確にして文章を書いている。【思考・判断・表現】
	ディスカッション 話題の方向を捉えて 話し合おう	話し合い活動	・話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較している。 ・相手の立場や考えを尊重し、目的に沿った話し合い、互いの発言を検討して考えを広げている。【思考・判断・表現】
三学期	根拠を明確にして 魅力を伝えよう 鑑賞文	作文	・必要な情報を選び出し、わかりやすい構成を考えて文章を書いている。【思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度】
	言葉の関係を考えよう 単語の性質を見つけよう	言葉についての学習	・言葉の関係を考えることができる。 ・単語の性質を考えることができる。【知識・技能】
	少年の日の思い出	小説の読み取り	・場面の展開を捉え、人物や情景を描いた表現に着目し作品を読み深める。 ・文章に表れている表現の特徴に自分の考えを持つ。【思考・判断・表現】
	行書の特徴、点画の変化連続	書写技能向上の学習	・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くことができる。【知識・技能】
	標準語と方言の果たす役割	方言についての学習	・標準語と方言の役割や違いを理解し、説明することができる。 ・日本には様々な方言があることを理解できる。【知識・技能】

評価		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	方法	小テスト	言語活動（スピーチ・聞き取り・話し合いなど）	ノート・ワークシート・作文・作品
		定期考査	作文・作品	授業観察・振り返り
		書写	定期考査	家庭学習（レポート・ワーク）
基準	各評価場面での評価項目において、十分に満足できる状況を100%とした場合の、80%以上をA、50%以上をBとする。			

令和4年度 指導計画・評価計画 (学年：1年 教科：社会)

時期	項目	ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	【地理】世界の姿	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に日本の地域構成を大観させる。 日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中における日本の姿についてその特色を理解することができる。 世界の地域構成に関する基礎的な知識を身につけている。 緯度や経度のしくみ、四季の変化や時差が生まれる理由を、地球の形状や地球の自転・公転と関連づけて説明することができる。 世界地図の種類による長所・短所を説明することができる。 地図や統計資料、グラフなどを活用し、日本の位置や範囲の意味などを読みとることができる。 世界の地域構成をふまえて大まかに世界地図を描くことができる。 統計資料から必要な情報を読み取ることができる。 地球儀や地図の基礎的な活用の仕方を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 位置や範囲が持つ意味や成り立ち、都道府県などの特色を比較考察し、表現できる。 各国の面積の違いや国境線の形状の違いに特色がある理由を考察することができる。 緯度、経度のしくみを地球の形状との関係から考察することができる。 地球儀を利用し、気候・時差などが生じる理由を、地球の構造と関連づけて考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の中での日本の位置や範囲、都道府県や地域区分に関して、身近な例を参考にしながら関心を持ち、学んでいる。 世界の地域構成の基本的な枠組みについて関心を深め、意欲的に追究することができる。 大陸名、国名などの地名に関心を高め、意欲的に追究することができる。 オリンピックやパラリンピックを通して世界を意欲的に追究することができる。 地球儀・様々な世界地図を意欲的に学習活動で利用しているか。
	【地理】世界各地の人々の生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかわりどらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色や地域の課題をとらえさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 扱う世界各地の生活の様子・環境の多様性について理解している。 世界地図との関連を思い出しながら、地域の自然・社会条件に関する基礎的な知識を身につけている。 宗教について基礎的な知識を身につけている。 さまざまな写真・絵・文字資料、地図、統計、グラフなどから、各地域で生活をする人々のようすを読み取ることができる。 宗教の分布を世界地図で大まかにとらえることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の生活の様子を、自然条件(気候・地形など)や社会条件などから考察することができる。 言語・宗教の分布について、歴史的背景との関わりから考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地の人々の生活(衣・食・住)の特色や生活と宗教との関わりなどに関心を深め、意欲的に追求することができる。 世界各地の人々の生活を日本の生活と比較して意欲的に追求することができる。
2・3学期	【地理】世界の諸地域	<ul style="list-style-type: none"> 大小様々な地域から成り立っている日本や世界の諸地域を比較し関連付けて考察し、それらの地域は相互に関係し合っていることや各地域の特色には地方的特殊性と一般的共通性があること、また、それらは諸条件の変化などに伴って変容していることを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 扱う国々の地域的特色・地域的事象を捉える視点や方法を理解し、その視点や方法について説明することができる。 世界の諸地域における地理的事象の特色を多様な視点から理解することができる。 多様な方法で収集した資料から適切な地理的情報を読み取ることができる。 地図や統計、グラフなどから地理的事象の特徴を読み取る能力を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の国々について、地域的特色を象徴する地理的事象を見出し、それを多面的・多角的に考察することができる。 世界全体、様々な地理的事象について比較、考察ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域(アジア・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オセアニア)に暮らす人々の生活の様子について関心を高め、意欲的に追究することができる。 日本と世界の諸地域との結びつきについて関心をもち、意欲的に追求することができる。

		ねらい	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
		1学期	【歴史】第2章 古代までの日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一と東アジアとのかわりなどを通して、世界の各地で文明が築かれ、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを通して、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷による統一の様子と東アジアとのかわりなどを基に、東アジアの文明の影響をうけながら国家が形成されていったことを理解している。 律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文献や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、天皇や貴族による政治が展開されていったことを理解している。
2・3学期	【歴史】第3章 中世の日本	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかわりがみられたことを理解させる。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかわりを背景に理解し、その知識を身につけている。 中世の文化の特色と、その中に今日につながる文化の原型があることを理解し、その知識を身につけている。 中世の政治の展開、経済の発達と社会の変化、文化の広がりに関する図版、史料、年表、歴史地図などのさまざまな資料を活用するとともに、追究した結果をまとめたり、説明したりしている。 中世の日本の動きを政治・経済・対外関係・文化などの項目に分けてまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかわりから課題を見だし、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察している。 中世の文化の特色を、社会の様子や文化の担い手と関連させて多面的・多角的に考察している。 	<ul style="list-style-type: none"> 武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかわりに対する関心を高め、意欲的に学習している。 日本の伝統文化に対する関心を高め、今日に残る中世の文化や文化財を尊重しようとしている。
評価基準	方法（材料）	ア 定期テスト イ ノート、 ウ 課題	ア 定期テスト イ ノート ウ 課題 エ 発表・話し合い	ア 定期テスト イ ノート ウ 課題 エ 発表・話し合い	ア 定期テスト イ ノート ウ 課題 エ 発言
		ア、イ、ウ <ul style="list-style-type: none"> 課題に対して資料に基づいて考え、追究することができる。 適切な資料を取捨選択して活用し、まとめている。 テスト中の知識を求める問題に解答できる。 テスト中の資料を活用して解く問題に解答できる。 	ア、イ、ウ、エ <ul style="list-style-type: none"> 地理的・歴史的事象に対して自分なりに課題を設定できる。 課題に対してさまざまな角度から考察し、自分なりの考えを持ち、表現することができる。 テスト中の思考・判断を求める問題に解答できる。 	ア、イ、エ <ul style="list-style-type: none"> 地理的・歴史的事象に対する興味・関心が自分なりに表現されている。 ウ <ul style="list-style-type: none"> 見やすい工夫がされていて、よく調べている。 	
地理的分野 55 単位 時間	A	上記項目合計の達成率 80%以上	上記項目合計の達成率 80%以上	上記項目合計の達成率 80%以上	
歴史的分野 50 単位 時間	B	上記項目合計の達成率 50%以上	上記項目合計の達成率 50%以上	上記項目合計の達成率 50%以上	

令和4年度 指導・評価計画(第1学年 数学)

学期	項目	数学への 関心・意欲・態度	数学的な 見方や考え方	数学的な技能	数量・図形などに ついての知識・理解
一 学 期	整数	自然数の性質を用いて問題を解決しようとする。	素因数分解を用いて約数を求められる。	自然数を素因数分解できる。	自然数。因数分解等の用語の意味を理解する。
	正負の数	負の数について関心をもち、0や負の数の意味を考えようとする。	様々な事象を正負の数を用いて表すことを通して、より広く考察することができる。	いろいろな事象や互いに反対の性質をもつ量を正負の数を用いて表すことができる。	正の数、負の数の意味や用語の意味を理解する。
	加減	正負の数の加減の計算方法を考えようとする。	加法や減法を、数直線を用いて考察することができる。	正負の数の加減の計算や加減の混じった計算ができる。	正負の数の加減の計算方法を理解する。
	乗除	正負の数の乗除の計算方法を考えようとする。	乗除や四則の混じった式の計算の能率的な方法を考察する。	正負の数の乗除の計算や乗除の混じった計算ができる。	正負の数の乗除や乗除の混じった計算方法を理解する。
	文字 の 計 算	数の代わりとして、様々な数量を文字を用いて表そうとする。 文字式の計算は数と同じように操作できることに関心をもち、計算して式を簡単に表そうとする。	文字は個々の場合をまとめて表していることと見ることができる。 1次式と数の乗除や1次式の加減の計算方法を考察することができる。	様々な数量を文字使用のきまりにしたがって文字式に表す事ができる。 1次式と数の乗除や1次式の加減の計算ができる。	文字を用いると、数量を一般的に表せることを理解する。 1次式と数の乗除や1次式の加減の計算ができる。
二 学 期	方程式	数量の間の関係を、等式を用いて表そうとする。 1次方程式の解き方を見つけようとする。	等式の性質を利用した方程式の解き方の手順を導くことができる。	数量の間の関係を等式で表すことができる。 等式の性質を使って、方程式を解くことができる。	方程式とその解の意味を理解する。 等式の性質を理解する。
	利用	問題解決のために方程式を活用しようとする。	様々な問題において立式の方法を考察することができる。	数量の間の関係を方程式で表し問題を解くことができる。	方程式を利用して文章題を解くときの手順を理解する。
	比例式	比例式を利用することに感心をもち、具体的な問題の解決に比例式を利用しようとする。	具体的な問題で、数量の関係を比例式で表したり、説明することができる。	比例式の性質を利用して方程式をつくり、その方程式の解を求め、もとの問題の答を求めることができる。	比例式の意味とその性質を理解している。 比例式を利用して問題を解く手順を理解している。
	比例	具体的な事象の中から比例する2つの量を見いだそうとする。	具体的な事象の中から比例する2つの量を考察できる。	1組のx,yの値から比例の関係を式に表すことができる。	yはxに比例することの意味や比例定数の意味を理解する。
	反比例	具体的な事象の中から反比例する2つの量を見いだそうとする。	具体的な事象の中から反比例する2つの量を考察できる。	反比例の関係を式に表すことができる。	yはxに反比例することの意味や比例定数の意味を理解する。
利用	具体的な事象の中で比例、反比例の関係をみいだそうとする。	具体的な事象の問題を比例や反比例の考えを利用して考察することができる。	具体的な事象の問題を比例や反比例の考えを利用して解くことができる。	比例や反比例の考えを利用することによって具体的な事象の問題を解決できることを理解する。	
三 学 期	図形の移動	身の回りの模様などを通して図形の構成に関心をもち、移動の方法を考えたり、図形を移動させたりしようとする。	それぞれの移動について観察、操作や実験を通して、それらの性質を見いだしたり、調べたりすることができる。	それぞれの移動について、移動させた図をかくことができる。 平面図形に関する用語や記号を用いて表すことができる。	平行移動、回転移動、対称移動の意味や性質を理解している。
	基本の作図	円と直線だけでどのような図形がかけられるかという問題に関心をもつ。	いろいろな図形の作図について対称性に基づいて作図の方法を見だし、その方法が正しいことを考察することができる。	いろいろな図形の作図について対称性に基づいて作図の方法を見だし、作図できる。	作図の意味を理解する 垂線、線分の垂直二等分線、角の二等分線の意味とそれらの作図の方法を理解する
	空間図形	身のまわりにある立体を観察し空間図形に関心をもち、立体をいろいろな観点から分類・整理しようとする。	立体を面の数や面の形などに着目して分類し、その特徴を考察することができる。 立体の性質に基づいた体積などの求め方の考察ができる。	柱体や錐体を底面の数や形に着目して分類したり、空間位置関係を整理したりすることができる。 体積や表面積が求められる。	立体の特徴を理解する。 直線と平面、平面同士など空間図形の位置関係を理解する。 体積や表面積の求め方を理解する。
	資料の整理	資料の傾向を調べることに興味をもち、ヒストグラムなどを用いて調べようとする。 資料の傾向を調べるために代表値を使おうとする。	ヒストグラムや折れ線グラフから資料の傾向を考察できる。 資料の集め方や整理の仕方を考えることができる。	度数分布表を元にヒストグラムなどをかき、資料全体や度数分布表から代表値や累積度数を求めることができる。	ヒストグラムや折れ線グラフの書き方・見方を理解している。 代表値や累積度数などの用語の意味を理解している。
	活用	ことからの起こりやすさを数値で表そうとする。	表やグラフからことからの起こりやすさを読み取り活用することができる。	実際のデータから統計的確率を求められる。	確率の意味とその求め方を理解している。
評価基準	ア 授業に取り組む姿勢 イ 提出物(ワークなど)	ア 定期考査 イ 小テスト	ア 定期考査 イ 小テスト	ア 定期考査 イ 小テスト	

各観点の達成率80%以上をA,50%以上をB,50%未満をCとする。

令和4年度 指導計画・評価計画

[第1年 理科]

学期	評価項目				
	月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期 [36]	4月	継続観察 [1]			
	5月	理科室のきまり			
	[9]	単元1	いろいろな生物の共通点と相違点に着目しながら、生物の観察と分類の仕方、生物の体の共通点と相違点を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な生物についての観察、実験などを通して、いろいろな生物の共通点や相違点を見いだすとともに、生物を分類するための観点や基準を見いだして表現している。	いろいろな生物とその共通点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	5月	生物の世界 [25～26]			
	[9]				
	6月				
[12]	単元2	身のまわりの物質の性質や変化に着目しながら、物質のすがた、水溶液、状態変化を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身のまわりの物質について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、物質の性質や状態変化における規則性を見いだして表現している。	身のまわりの物質に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
7月	物質のすがた [24～25]				
2 学 期 [42]	9月				
	[9]				
	10月	単元3	身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、光と音、力の働きを理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けている。	身近な物理現象について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、光の反射や屈折、凸レンズの働き、音の性質、力の働きの規則性や関係性を見いだして表現している。	身近な物理現象に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	[12]	身近な			
11月	物理現象 [24～26]				
[12]					
12月					
[9]					
3 学 期 [27]	1月	単元4	大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、身近な地形や地層、岩石の観察、地層の重なりと過去の様子、火山と地震、自然の恵みと火山災害・地震災害を理解しているとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けている。	大地の成り立ちと変化について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、地層の重なり方や広がり方の規則性、地下のマグマの性質と火山の形との関係性などを見いだして表現している。	大地の成り立ちと変化に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
	[9]	大地の変化 [26～27]			
	2月				
[12]					
3月					
[6]					
評価材料			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・実験、観察のレポート ・実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・実験、観察のレポートの考察、発言や発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察への取り組み ・課題の提出、取り組み ・夏休みの課題
評価規準		A	上記評価項目の達成率80%以上	上記評価項目の達成率80%以上	上記評価項目の達成率80%以上
		B	上記評価項目の達成率50%以上	上記評価項目の達成率50%以上	上記評価項目の達成率50%以上

※指導教員数及び持ち時数によっては、一部の単元を並行して実施することもあり得る。